



# Yonago East Weekly

●創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 TEL (0859) 32 - 5531  
●例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 TEL (0859) 33-0911  
●会長/井上賢明 ●幹事/岩崎 浩 ●会報/荒川圭三

## 出席報告

会員数79名

## 今週のお祝い

夫人誕生祝 :4日 坂口紀之君 7日 岩崎 浩君  
11日 加来正年君 19日 荒川雄司君  
23日 梅田整一君

## 会長挨拶

先週の日曜日は合同IMと大山一斉清掃で、皆さん各地で奉仕活動或いは講演会に出席頂き、大変多くの方が参加されたと聞いております。

私はIMに出席致しまして、もうすでに次年度のガバナーやガバナー補佐の紹介があって、次年度の動きも地区協議会ですとか色々な事が動いて次年度一色になってきておりました。人づくりをテーマにした講演会では、平井知事と子供論語塾の安岡講師により、どう生きるか、どう育むか、どう繋いで行くかという大変中身のある講演会であったと感じました。論語・孔子の時代は紀元500年で、科学とか技術が進歩した現代社会においても、人間の心の発達は何千年経っても本質的には変わらないだろうし、どうゆう風に継承して人を育てて行って、一つの自分の人生が終ってゆく、どう生きるのかと言う事を改めて考えさせられる様な機会でありました。

このロータリークラブの中でも倫理観の醸成と言うのが有りますが、還暦になったぐらいでは中々自身の中で消化しきれないという事もあって、年を重ねる程に世の中の判らない事、知らない事が沢山あると言う事をつくづく感じ、是非このロータリーの中

で、又一般の色々な方々との出会いの中で話をしながら、どう生きてゆくのか、どう繋いで行くのか、改めて考えてみたいと思った1日でありました。

## 幹事報告

### 1. 面谷博紀君入会



### 2. 4/17 IM 15名出席、登録のみ14名

### 3. 4/17 大山春の一斉清掃 会員14名、家族7名、米子松蔭高校IAC 教師1名、生徒10名参加

### 4. 6/4(土) 5RC対抗麻雀大会の案内

### 5. 例会変更のお知らせ

鳥取中央、米子南RC 5/2(月)休会(定款第6条)

鳥取北、境港RC 5/3(火)休会(法定休日)

倉吉中央、松江 5/4(水) "

鳥取、倉吉東、米子中央 5/5(木) "



# Let's Join!

## すすんで参加しよう!

## 《 プログラム 》

「最近のエネルギー情勢と中国」

中国電力株式会社 米子営業所  
所長 加納利浩 氏 (米子RC)



先ず我が国のエネルギー情勢ですが、1世帯で使うエネルギーが1日当たり油で2ℓのペットボトル3本分です。使うだけでなく色んな製品を家に持ち込むためにも油はいっぱい使われて、原油換算で約6億ℓです。昭和35年には1.3億ℓ、その当時は三池とか石炭が有りエネルギー自給率は5割以上と高かったのですが、その後高度経済成長を経て油を大量に使うようになり、やがて天然ガスや原子力が這入って来て、その結果現在の日本の自給率は僅か4%です。食料自給率が40%を切って大騒ぎしたのですが、エネルギーはその一桁下です。オイルショック後の価格動向は、20\$の時代は終わりました。世界的に景気が良くなった。ここ20年位に先進国が金余りでバンバン使っている。産油国の中東が政情不安である。こういった前提で投資資金がエネルギーマーケットに入ってきたため今は100\$以上になって、これからも高いまま行くと思って頂いて結構です。今のコストは50\$位で残りの50\$以上がバブルなんですね。何でそうなるのか、投資資金なんです。世界の投資資金は原油市場の100倍の規模があります。投資資金から1%原油市場に流れたら原油市場は倍になり価格も倍になります。

油はいつ無くなるかと言う事ですが、私が40年前小学生の頃、油は30年したら無くなると言われていましたが、今は40年と言われてます。技術革新で新たに発見したり、容易に掘れる様になって来ました。但し需要のスピードも上がっています。昭和50年代から平成に入る頃18年間で1千万BD伸びていたのが、今は5年間で1千万BD伸びています。石炭はまだ150年はあります。天然ガスはCO<sub>2</sub>が一番少ない化石燃料で、ユーラシア、アフリカ、米国等、割と世界に分布しています。新エネルギーの太陽光 風力はまだ発展途上です。CO<sub>2</sub>の排出は日本は既に絞り切って世界の4%しか出していませんが、米中の2ヶ国で世界の4割を出しています。日本が25%削減しても1%のインパクトしか有りません。

中国はここ30年 年平均10%の経済成長を続けています。2次産業がやたら伸びて世界の工場化し、エネルギーは爆発的に伸び、電力需要だけに限れば5年毎に日本全体が1個分増えている勘定になります。中国はイランと同じ世界の五指に入る程の大産油国ですが、1990年代に輸入を始め、大産油国でありながら今では生産量以上を輸入する大輸入国でもあります。鉄は10年前に1億tの生産が今や世界の5割で6億トン、新車販売は米国を抜き、外貨準備高は世界一、企業の時価ランクで世界のトップ50に7社這入っています。こうゆう隣人がいますとしわ寄せが来ます。日本はエネルギーを殆ど持っていないし、特に中国とかが日本のライバルとして物を一杯買うようになると、このままでは日本は資源小国の悲哀を痛感する局面が増えてくると思います。

電力会社はオイルショック前は油だけでしたが、今は原子力で3割を起こしています。3月10日以前の原子力発電は、安定供給と地球環境を同時解決する当面の切り札で有りました。原発は作る時に高いハードルが設けられます。当然地震にもかなりの揺れを想定し、それを前提とした強度を保たせるようになっています。島根原発も色々やっています。日本海で津波を発生させる逆断層が秋田沖にあります。7.85Mが起きた時ロシア沿海州に反射して帰ってくる津波5.7mを想定し、海拔8.5mの敷地を作り、建物は15mの高さを持っています。また電源が切れた時の非常用電源車や燃料タンクが壊れた時のタンクローリーの導入、又高さ40mに非常用電源を追加する等、一連の津波対策をやっています。

原発を運営する事業者と致しましては、想定外と言う事を絶対言っではいけないという事が今般良く判りました。従いまして、我々が考える知見の全てを使って、足りないところは専門家の先生にご意見を伺いながら万全を尽くしていくと言うのが私共のスタンスでございます。

人間の作るもの、或いは高度の技術を集積したものにつきまして、絶対大丈夫とか100%保障出来るものは地球上誰もいません。要は情報を開示し、それを持って皆様方の知見と知能と理性で判断頂くことかなと思います。原子力を止めて化石燃料を燃やしたらいいじゃないかと言うご意見もありますが、地球の資源は有限なものです。そこはもう一回立ち止まってお考えいただき、この星にこの国に地球圏の一員として生きて行く為に、最良の選択は何かと言う事を冷静に考えたら良いと思います。